



新ブランドメッセージ

「**思いを、はせる。**」

中期経営計画「HASEKO Evolution Plan」のスタートに合わせて2025年に策定しました。
ステークホルダーの皆様思いをはせながら、中期経営計画の基本方針「**住まい**」と「**暮らし**」のリーディングカンパニーとして、**持続的な成長と企業価値向上を実現する**。に則り、さらなる進化を続け、すべてのステークホルダーの皆様「**長谷工で良かった**」と言っていただけるようグループ全員で努力してまいります。

編集方針

『長谷エグループ統合報告書2026』は、幅広いステークホルダーとのコミュニケーションツールとして位置づけています。本報告書では、継承してきた独自の強みと、社会環境の変化に対応する事業戦略・サステナビリティ戦略をあわせて、長谷エグループの持続的な成長に向けた価値創造ストーリーをご紹介します。進化を続ける当社グループの理解促進にご活用いただけましたら幸いです。

統合報告書2026のポイント

事業基盤・競争力の強化 変化の激しい事業環境の中でも、受注高の拡大と工事利益率の改善を中心に、継続して稼げる力を高めています。建設事業の強みを磨き、不動産開発やストックビジネスへの展開を強化しています。	将来の環境変化への対応 国内住宅市場の縮小や人手不足への対応が引き続き重要な課題です。中期経営計画「HASEKO Evolution Plan」1年目では、自社PCa工場稼働や効率化推進により、変化に対応し着実に進化しています。	経営基盤の強化 マテリアリティの見直しを行い、サステナビリティへの取組みを深化させました。環境負荷の軽減、社員の能力を引き出す取組み、ガバナンスの強化などを通じて、持続的な成長の基盤を強化しています。
---	--	--

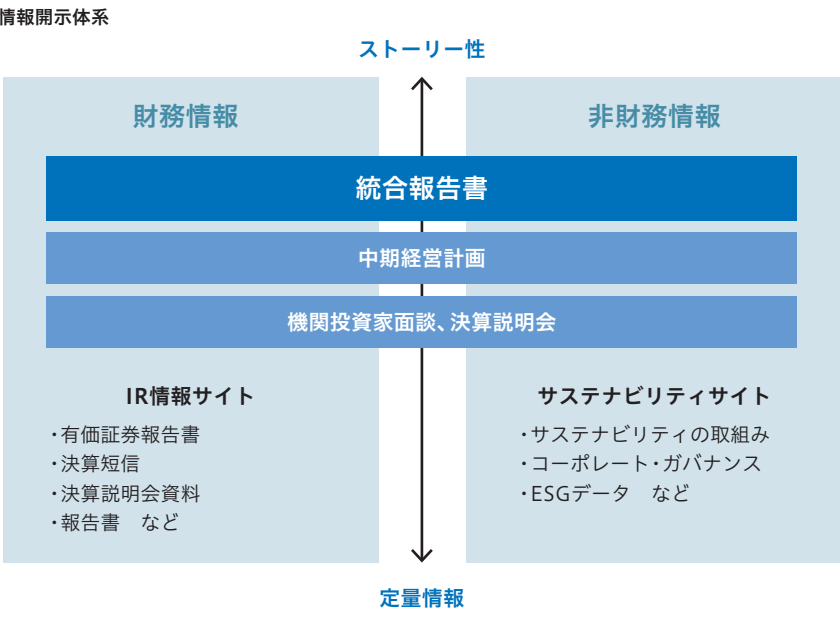
対象期間
2025年度(2025年4月～2026年3月)
ただし、一部対象期間外の情報も含めています。

対象組織
長谷エコーポレーション、子会社101社及び関連会社20社を対象としています。

見通しに関する記述
当報告書におきまして、掲載した予測は報告書作成時点の当社判断に基づくものです。そのため、様々な要因の変化により記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

発行 2026年8月

ガイドラインへの対応
『長谷エグループ統合報告書2026』は、国際統合報告フレームワーク(IIRC)、GRIスタンダードを参照しています。



目次

1

長谷エグループの進化

トップメッセージ

03

進化 取組み施策

09

2

長谷エグループについて

強み

15

勝ち筋(ビジネスモデル)

17

価値創造の歴史

19

積み上げた資本と実績

21

3

中長期価値創造・成長戦略

価値創造プロセス

23

マテリアリティ

25

中期経営計画「HASEKO Evolution Plan」

27

財務担当役員メッセージ

31

事業概要

37

建設関連事業

39

不動産関連事業

43

管理運営事業

45

海外事業

47

4

サステナビリティ・価値創造を支える基盤

サステナビリティ推進担当役員メッセージ

49

気候変動

51

資源循環・汚染予防

53

生物多様性

54

人的資本

55

サステナビリティ TOPICS

61

人権尊重

63

サプライチェーン・マネジメント

64

5

企業データ

財務ハイライト

77

非財務ハイライト

79

会社概要

81